

かつてアルファベットで名前をつづった針金のフーローチが流行したことがある。

発信源は、ロサンゼルスの上でワイヤクラフトのアクセサリーを売っていたヒッピーだった。何度かまねて作ろうと試みて失敗、「瞑想のあと針金を投げ上げるとフーローチになって地上に落下してくるのです」とまことしやかに言っていた長髪の男のことは半ば信じそつになった。

針金でモノを作る。これは特殊技術である。

ましてやモノが、ワイヤクラフトという名でくられるような、見て飾って楽しむ小物ではなく、毎日荒っぽく使ってもちよつとやそつとでは壊れない頑丈さが求められる道具となれば、器用な手先に加えて辛抱強さと体力、そして仕上がりや使い勝手をイメージする構想力が求められる、高度な職人技術である。

そんな技術をもつ針金職人も、いま、日本には数人しか残っていないという。

そのひとりが、町山進一さん。すぐ近くにあるディズニールランドの人工的喧騒がそのようなどこか懐かしさを覚える浦安の漁港。作業場で漁師たちが築地に運ぶための魚介を運び分けている。そこで活躍する、数々の針金製の

専門道具がある。貝を選別する「がた」、魚介類を洗うための「ゆすぎざる」、小さな貝をすくい取る「すくいたま」、柄の長い「うすまきざる」……。これを漁師たちの注文に応じて作っているのが、町山さんである。

すれ違つ近隣の人が「あら、針金さん」おっ、針金屋」と気さくに声をかける。

町山金網店の三代目、この道50年以上の、ベテランである。

創業は「手先がめちゃうくちや器用だった」おじいさん。およそ100年前、お米を川で洗っていた時代に、米とぎざるを針金で作って見たところ、近所のおかみさんたちの注目を浴びた。「わたしにも作って」と殺到する注文に応じているうちに、それが商売になってしまったという。

三蔵(さんそう)、という名だったので「編み三(あみさん)」とか「編み三さん(あみさんさん)」と呼ばれたおじいさんのあとを、屋号を「針金屋」とした父が継ぎ、そのあとを「おじいさんのたつての望み」を受けた進一さんが継いでいる。

編み三、という呼び名からもうかがえるように、作業の主体は針金を使って「編む」ことである。芯になる太い針金のまわりに、細かい針金を巻きつけながら、亀甲型

の編み目をふやしつづつ、立体的なおブジェに作り上げていく。

たくさんの貝を入れてがしがし洗っても型崩れしない道具の秘訣は、芯になる針金。このまわりにしつかり細い針金を巻きつけることで、壊れにくい道具ができる。

この作業は、熟練した職人の手ではできない。機械で単純に編まれたざるは、すぐに型崩れしてしまうので、漁師の道具には向かないのだ。

「仕事中の針金職人のように座る(sit like a welder under his work)」という表現が英語にはある。正確なところはよくわからないのだが、長時間、動じずに、じつくりと腰をすえて座る、というような意味だろう。少なくとも町山さんは、朝8時から夕方5時まで、仕事場に座り、ひたすら、針金を編む。

20代の頃にはじめてという趣味のソシアル・ダンス(競技ダンス)でつちかわれたリズム感ゆえか、睡るような手の動き。それでも、ゆすぎざるなら一日1個しか作れない。1個、1個が真剣な一日の作業の成果である。しかし、町山さんは言う。

「完璧に満足した仕事なんて、きつと一生かかってもできねえなあ」みるみる増えていく美しい針金の編み目を見ながら、思考を針金にたどえたイタリアの劇作家、ユ

Who's who

針金屋

町山進一 68歳

「ゴ・ベッティのことばに思いが飛んでいた。

「思考にはことばが必要だ。思考はことばの上を、長い一本の針金のように進んでいく。もし、ことばを失えば、思考は形を失い、ぼんやりとしていく」

長い一本の針金は、町山さんの手ということばを得て、しだいに形のはっきりとした立体的なおブジェになっていく。それはあたかもひとつの思考の形にも見えてくる。眼想がワイヤクラフトを作るというヒッピーのことばも、解釈によつては真実かも、とまで思えてきたりして。

現実に戻る。これだけの技術も、町山さんの代で消えてしまうのである。すつとく残念なことではありませんか？

でも、町山さんはと手を休めて遠くを見て、はればれと微笑むのである。「いいんじゃないのかねえ」



針金屋
〒278-0041 千葉県浦安市堀江3-28-16
Tel/Fax 047-352-3546
大きさは希望に応じてオーダー可。
右の写真は家庭用サイズで直径22センチ、深さ7.5センチ、
野菜や果物を洗うのに最適な一品。
美しいデザインも使う楽しさが倍増する。¥7,350

中野香織—文
text:Kaori Nakano
福知彰子—写真
photographer: Akiko Fukuchi

